



五垂の泉

校長 加藤 ゆかり

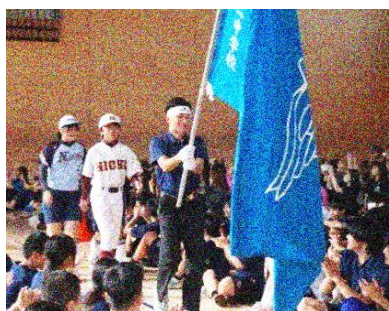
山形市立第二中学校 学校だより 令和8年 9月25日 第7号

山形市中学校新人体育大会壮行会

元気なはと達よ みなぎる力を発揮せよ！

9月18日(金)に、フリー参観、市中新人体育大会・D1 グランプリ等の壮行会、部活動保護者代表者会を開催しました。お忙しい中、学校に足を運んでいただきありがとうございました。

壮行会における各部の決意表明は、初々しさとともに、大会への強い思いを確認し合う場となりました。また、全校生で練習してきた応援が体育館に大きく響き渡り、各会場での各部の健闘を祈り合うことができました。



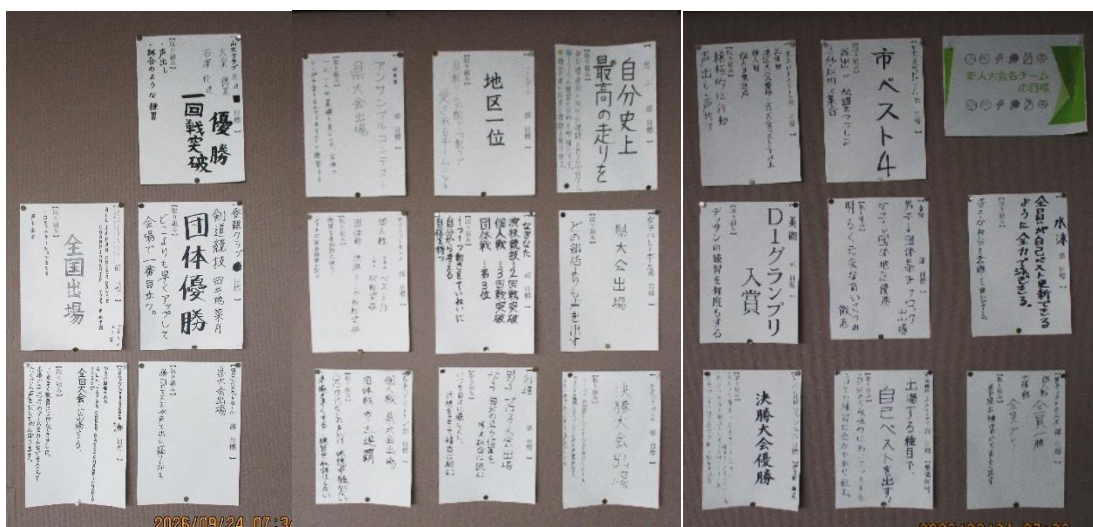
新人大会は、3年生から1・2年生へと引き継がれてから初めて挑む大きな大会です。今年の夏は、休日の活動が部活動から地域クラブでの活動に展開しており、世代交代をするだけではない難しさを感じた部も多かったのではないのでしょうか。9月14日(月)から始まった部活動強調週間では、5校時授業で放課後の活動時間を確保してきました。シルバーウィークを経て、いよいよ今週末に本番を迎えます。最後の体調管理をしっかりと、これまでの練習の成果を全て発揮してきてください。



保護者の皆様にとっても、例年とは違う夏となった中、生徒の活動をご支援いただきありがとうございます。壮行会でも多くの保護者の皆様に見守っていただき感謝申し上げます。当日の生徒達は、これまでにないプレッシャーを感じながら戦いに挑むことになります。生徒の力を信じ、これまでの練習を信じ、苦しい場面こそあたたかいご声援をいただけますようお願いいたします。

新人大大会各チーム・出場者の目標

2階渡り廊下に掲示されています。



各会場での
二中生の健闘を祈る！

「考え」を「行動」にうつす姿に、大きな反響がありました。

熊本地震・千葉豪雨への募金活動への

ご協力ありがとうございました。

今年の夏休みは、7月に発生した熊本地震や8月に発生した千葉豪雨のニュースが連日報道されました。遠い地域の出来事ではありましたが、いつ何時、自分の身に降りかかるかわからない災害であり、他人事とは思えませんでした。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

夏休み中にニュースを見て、生徒会執行部は「被害に遭い、日常を奪われた人々のために、私たちにできることは何か」を考え、2学期スタートと共に募金活動を行いました。今回は、校内だけでなく、学区内のコープしろにし店様にご協力いただき、8月26日(水)、28日(金)、31日(月)の3日間、街頭募金も実施しました。お買い物に来られた方はもちろん、二中学生徒会の街頭募金活動を知り、わざわざ足を運んでくださった方もいらっしゃったそうです。活動にあたった生徒会のメンバーにもたくさんの方からあたたかいお声がけをいただきました。地域の多くの方にご協力いただきありがとうございました。



校内での募金と3日間の街頭募金で、総額179,532円が集まりました。今回の活動を企画した執行部にとっても予想を大きく上回る金額となりました。ご協力いただいた募金は、熊本地震と千葉豪雨の支援金として半額ずつ、日本赤十字山形県支部様を通して届けていただきました。9月7日には、支援金贈呈の会を行いました。



日本赤十字山形県支部の斎藤様より、「困っている人がいて、何かできないかと考えている人は多いが、実際に行動にうつせる人は少ない。迷わず行動にうつしてくれた二中学生徒会執行部に感謝したい。先日、生徒会長がインタビューで『日常の生活に戻ってほしい』と話していた。被災地の人々の生活を日常に戻すのはとても難しく時間がかかることではあるが、皆さんの思いが届いて、もうひと踏ん張りできる人がいるはず。これからも、思いを行動にうつすことを大切にしてほしい。」とあたたかい言葉を頂戴しました。

二中の重点「考える」から、新たな「行動」が生まれ、それが地域にも派生していったこと、本当にうれしく思います。これからも、自分自身のため、学校のため、そして、地域のために、「今、私(達)にできること、すべきこと」を考えながら生活していきましょう。

～少年の主張大会、英語暗唱・弁論大会～

9月2日(水)に開催された「第65回県少年の主張山形地区大会」と9月4日(金)に開催された「第78回東南村山中学校高等学校英語弁論大会」に、二中生の代表が出場しました。



少年の主張大会に出場した3年布施拓真さんは、「先入観を超えた先に」と題して、中国での生活体験や2年前の事件をもとに、感じたことや考えたことなど、布施さんだからこそ語れる内容を自分の言葉で発表しました。

地区大会では優良賞、9月9日(水)のブロック大会で見事、優秀賞を受賞し、9月15日(火)の県大会でも、堂々と発表することができました。

英語弁論大会の「暗唱の部」に出場した3年菅野智愛さんは、“Visa of Hope～希望のビザ～”(第二次世界大戦中に多くのユダヤ人の命を救った外交官・杉原千畝さんの物語を披露しました。

難しい状況下で葛藤する杉原さんの感情を英語でもしっかりと表現しました。



英語弁論大会の「スピーチの部」に出場した3年八鍬良吾さんは、“To Become a Real Family～本当の家族になるために～”と題して発表しました。

ホームステイ中のホストファミリーとのやり取りから、自分自身から働きかけることの大切さに気づき、行動することで関係性に変化が生まれたことを表現しました。

3名とも、夏休み中から練習を始めていました。日本語でも英語でも、大勢の方の前で自分の言葉で思いを伝えるのは大変なことです。それぞれに、自信を持って発表できるまでの努力を積み重ねられたことに敬意を表します。更に、考えや思いを言葉にできる二中生が増えることを願っています。

二中祭～体育祭・文化祭～ 実行委員を中心に準備を進めています。

二中では「二中祭」と称し、10月8日(木)には体育祭を、10月26日(月)には文化祭を開催します。今年度は、11月の生徒会役員改選までを見据えて、夏休み前に各行事の実行委員を選出しました。

体育祭「百花笑乱～仲間と紡げ！！五色のキセキ～」、文化祭「喜^{きぼう}紡～思い出を形に感情を音に～」のスローガンのもと、それぞれ最高の形で当日を迎えられるよう各リーダーを中心に、いくつもの活動を同時並行で準備しています。先日行われた体育祭の軍別集会では、どの軍も大きな声でリーダーたちが全体を引っ張っていました。リーダーはもちろん、フォロアーとしての在り方も学べるチャンスです。当日を楽しむために、これからの準備の時間を大切にしていきましょう。